

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 4 区分
【発行日】令和 5 年 9 月 1 日(2023.9.1)

【公開番号】特開 2022-166494(P2022-166494A)
【公開日】令和 4 年 11 月 2 日(2022.11.2)
【年通号数】公開公報(特許)2022-202
【出願番号】特願 2021-71743(P2021-71743)
【国際特許分類】

H 0 2 J 7/00(2006.01)

10

【F I】

H 0 2 J 7/00 3 0 2 C

H 0 2 J 7/00 3 0 1 B

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 8 月 24 日(2023.8.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 5

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【0 0 3 5】

図 4 に示すように、第 4 導電路 4 2 の中間電位接続部 4 4 A は、セルユニット 1 4 A の図示下側に配される負極端子に接続されている。ここで、セルユニット 1 4 A の負極端子は、高圧バッテリー 1 1 の総正極及び総負極以外の複数のセルユニット 1 4 の電極端子の一例である。すなわち、セルユニット 1 4 A の負極端子と対をなす正極端子は、高圧バッテリー 1 1 の総正極とされている。第 4 導電路 4 2 の中間電位接続部 4 4 A と反対側の端部は、第 2 導電路 2 2 の第 2 システムメインリレー 2 8 と総負極接続部 2 5 との間に接続されている。第 4 導電路 4 2 には、第 2 リレー 4 5 A が設けられている。

【手続補正 2】

30

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 9】

図 1 に示すように、直並列切替ユニット 4 0 (第 3 導電路 4 1、第 4 導電路 4 2、及び第 5 導電路 4 3) は、前後方向において、第 1 導電路 2 1 と第 2 導電路 2 2 との間に配置されている。第 3 導電路 4 1 は、メインヒューズ 2 7 の後方に配される第 2 リレー 4 5 B を備える。第 2 リレー 4 5 B から右方にのびるバスバーは、接続バスバー 4 8 B とされている。接続バスバー 4 8 B は、第 2 リレー 4 5 B と、第 1 導電路 2 1 の総正極接続部 2 3 を有するバスバーと、を接続している。接続バスバー 4 8 B と反対側の第 3 導電路 4 1 の端部は、中間電位接続部 4 4 B となっている。中間電位接続部 4 4 B は、ベース部材 1 0 A の前後方向中央部付近の外縁部から右方に突出している。中間電位接続部 4 4 B と第 2 リレー 4 5 B との間の第 3 導電路 4 1 は、荒い網掛け部分で示されている。この荒い網掛け部分は、図 2 に示すように、中間電位接続部 4 4 B を有する門形状の第 1 バスバー 4 9 と、第 1 バスバー 4 9 の左上端部と接続される第 2 バスバー 5 0 と、により構成されている。

40

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 9

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 5 9 】

図 6 に示すように、ベース部材 1 1 0 A の後側には第 2 導電路 2 2 が左右方向にのびて設けられている。第 2 導電路 2 2 は、第 2 システムメインリレー 2 8 と、プリチャージ回路 2 9 (プリチャージリレー 3 0 及びプリチャージ抵抗 3 1) と、を備える。第 2 導電路 2 2 の右端部には、総負極接続部 2 5 と、総負極接続部 2 5 の後側に位置する接続部 6 1 A と、が設けられている。第 2 導電路 2 2 の左端部には、負荷接続部 2 4 B が設けられている。

10

20

30

40

50